

共通価値の創造とサステナビリティ ネスレ日本の取り組み



CEOメッセージ

私たちは Good food, Good life カンパニー、ネスレです。

Good food, Good life、それはすなわち良い企業活動を意味します。Goodとは自らを高い水準に保ち、そして常により良くなろうと努めることです。社会、ビジネス環境をはじめ、すべてがかつてないスピードで進化する今、私たちは、お客さまやペット、そして社会に対して高品質で安全な食品・飲料の提供をするという重要な役割と責任を担い、美味しく、心にも体にも嬉しい、そして使いやすく、環境にも配慮された製品やサービスを確実にお届けできるよう引き続き努めております。

これからもネスレ日本は Good food, Good life カンパニーとして、食品、飲料、栄養健康製品、ペットケア製品、そして付加価値の高いサービスで実現できるイノベーションを探究することで、食の持つ力で現在、そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます。



代表取締役社長兼CEO

深谷 龍彦

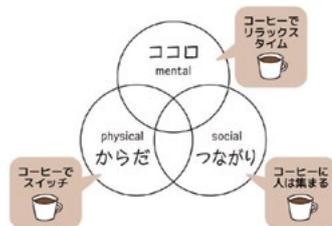
ネスレは、食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます

ネスレの存在意義は、「食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」です。ネスレはこの存在意義に動機付けられて、現在そしてこれからの人々やペットの生活、そして環境に対して、プラスの影響を与えるべく取り組んでいます。

個人と家族のために さらに健康で幸せな生活を実現します



日本人にとって最大のポリフェノール摂取源として知られているコーヒー。「3 Coffee a Day ~ 1日3杯のコーヒー習慣がいい人生をつくります」をキーメッセージに、1日3杯のコーヒー飲用習慣を提案しています。



健康的なコーヒー飲用習慣の推奨

コミュニティのために 困難に負けない活力あるコミュニティを育成します



ネスレ ピュリナ ペットケアが目指すのは、人とペットが共に暮らす豊かな社会の実現です。そのためにペットをとりまく社会問題解決に向けて、ペットとペットを愛する人々に寄り添いながらさまざまな取り組みを進めています。



ピュリナは、保護犬・保護猫の未来を支える活動をサポートしています
<http://p.nestle.jp/pet/>



人とペットの豊かな共生社会実現のために

地球のために 資源と環境を守ります



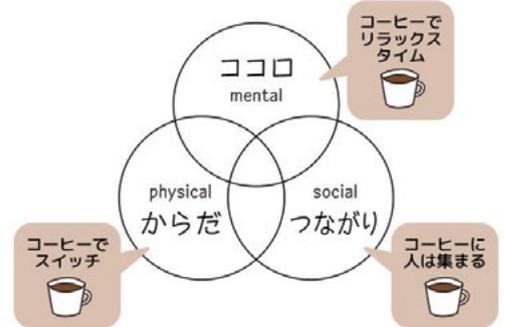
2019年から始めた「キットカット」大袋製品の外袋素材をプラスチックから紙に変更する取り組みは、2020年にはほぼすべての「キットカット」大袋製品へと拡大、取り組み開始以来累積790トン(2021年末時点)のプラスチックを削減しました。



製品パッケージの改善



健康的なコーヒー飲用習慣の推奨



日本人にとって最大のポリフェノール摂取源として知られているコーヒー。「3 Coffee a Day ~ 1日3杯のコーヒー習慣がいい人生をつくります」をキーメッセージに、1日3杯のコーヒー飲用習慣を提案しています。

2021年、外出自粛やリモートワークによる“座りっぱなし”の生活(座位行動)が増える中、従業員約300名を対象に、食事摂取・生活習慣に関する調査を実施しました。社員の健康状態に加え、ストレス、座位行動の状況、そしてコーヒー摂取行動との関連について検討を行った結果、コーヒーブレイクのある暮らしが、“座りっぱなし”の生活によるストレスの改善に影響するという新たな可能性が見出されました。

オフィスでの“コーヒーブレイク”には、コーヒーを飲む時間だけでなく、コーヒーを淹れる準備から、コーヒーを片手に仲間と談笑したり、また片づけをしたりする時間も含まれます。時間にするとわずか5分程度の行動かもしれませんが、1日3杯コーヒーを飲めば、少なくとも3回“ブレイク”を増やすことができます。立ち上がりデスクから離れることは気分転換になるだけでなく、座位行動の中断のきっかけになっていると考えられます。



Voice 社員の声

“座りっぱなし”の生活が増えているように感じていらっしゃる方には、ぜひコーヒーブレイクを上手に取り入れることをお勧めしたいです。コーヒーの味や香りをおいしく楽しむことは、生活に彩りを添えてくれます。

マーケティング&コミュニケーションズ本部
原田 大輔



ネスカフェ アンバサダー

「ネスカフェ アンバサダー」プログラムは、職場やコミュニティに「ネスカフェ」のコーヒーマーカーを無料で貸し出し、専用のコーヒカートリッジの定期購入と代金回収は「ネスカフェ アンバサダー」と呼ばれる職場の代表者に協力していただくサービスです。一杯のコーヒーを起点に会話や笑顔を広げる“オフィス内コミュニケーションの活性化”といったベネフィットが受け入れられ、一般オフィスに限らず、病院、美容サロン、学校など、さまざまな職場でご利用いただいています。



介護予防カフェ

2013年、兵庫県神戸市とネスレ日本は、「こうべ 元気! いきいき!! プロジェクト」の連携協定を締結しました。栄養や健康に関するノウハウを活かし、高齢者の生活の質の向上に貢献しています。取り組みの一つである「介護予防カフェ」にコーヒーマーカー「ネスカフェ ゴールドブレンド パリスタ」などを提供し、「ネスカフェ」を楽しみながら語らう集いの場づくりを応援しています。これまでに神戸市内の81か所（2022年3月時点）で立ち上がり、地域コミュニティの活性化に貢献しています。



「ネスカフェ」を楽しみながら語らう集いの場「介護予防カフェ」



介護予防カフェを紹介する「カフェ通信」を定期的に発行しています。

健康的な選択肢の提供



ネスレ ヘルスサイエンスは、日本では30年以上の歴史がある「アイソカル」をはじめとした栄養補助食品を全国1万軒以上の医療機関・介護施設の現場にお届けしています。少量高カロリーのコンパクト栄養食「アイソカル 100」や「アイソカル ゼリー ハイカロリー」は、食事が気になる時などにもカロリーを手軽に補給できるため、高齢者の健康維持に役立てられています。



2022年3月、兵庫県との産官学事業の一環として、65歳以上のための栄養評価アプリ「MNA プラス」内で「兵庫県版健康チェック」の提供を開始しました。



子どもだけでなく大人にとっても大切な栄養素が美味しく摂れる「ミロ」。2021年には「ミロ ボックス」や甘さひかえめの「ミロ オトナの甘さ」を発売しま



した。2021年10月、さらにより多くの方に鉄分の大切さを知っていただくため、キッチンカーを使ったイベント「ミロ 鉄分お助け隊」を女子栄養大学と共同で企画。「ミロ」を通じた鉄分摂取啓発を実施しました。



2021年3月、ペットケア製品を扱うネスレ ピュリナ ペットケアは、卵由来のタンパク質が唾液中の猫アレルギーの原因物質を中和することにより、猫の被毛やふけに付着する猫アレルギーを減らすキャットフード「ピュリナ プロプラン リブクリア」を発売しました。

Voice 社員の声

今後もイノベーションを推進し、フードの力でペットと家族がより幸せに暮らせる未来を目指します。

ネスレ ピュリナ ペットケア
マーケティング統括部
久保 一朗



ネスレ ヘルシーキッズ

幼い頃に、栄養・健康・ウェルネスに関する知識と実践する力を身につけることは、生涯を通じた財産となります。ネスレがグローバルで推進する旗艦イニシアチブ「ネスレ ヘルシーキッズ」は、胎児期から青年期の重要な時期に、親や保護者を啓発し、支援することを目指しています。ネスレ日本では、2018年から従来の食育・運動プログラムを子どもだけでなく、保護者や高齢者にも拡大し、地域コミュニティの活性化を目指して地方自治体や子ども食堂などの団体とともに取り組んでいます。



「ネスレ ヘルシーキッズ」食育教材：教材はすべてウェブサイト(<https://www.nestle.co.jp/nhw/healthier-kids>)からダウンロードしてご利用いただけます。

製品パッケージ上の栄養表示

健康的な食生活に役立つ情報を提供し、製品に対する理解を深めてもらうために、ネスレでは製品パッケージ表面で1食当たりのエネルギー(熱量)、脂質、飽和脂肪酸、糖類や食塩相当量と、それらが1日の目安に対して占める割合(%)をアイコン化し、わかりやすく表示しています。さらにパッケージ裏面の「ネスレ ニュートリショナルコンパス」の栄養成分表示と連動し、詳しい栄養情報をガイドします。



栄養ガイド表示(カロリーガイド表示)：栄養素の1食当たりの量とそれが摂取目安に対して占める割合(%)をアイコン化し、わかりやすく表示しています。

コミュニティのために

困難に負けない活力ある
コミュニティを育成します



人とペットの豊かな共生社会実現のために



PURINA

ペットに寄り添い 共に歩む未来へ

ピュリナは、保護犬・保護猫の
未来を支える活動をサポートしています

<http://p.nestle.jp/pet/>

ネスレ ピュリナ ペットケアが目指すのは、人とペットがともに暮らす豊かな社会の実現です。そのためにペットをとりまく社会問題解決に向けて、ペットとペットを愛する人々に寄り添いながらさまざまな取り組みを進めています。

保護された猫(保護猫)のために、バス車両を全面的に改装した「ピュリナ ネコのバス」を活用して譲渡会を実施し、保護猫の啓発と譲渡促進に貢献しています。2018年4月に活動を開始して以来、神戸、大阪、名古屋、東京をはじめとする15以上の都市で保護猫の譲渡や啓発活動を行いました。2021年からは、出張型オンライン配信の保護猫譲渡会やオンラインと現地地でのお見合いを融合したハイブリッド型の譲渡会など、新型コロナウイルスの感染の拡大状況などに応じて柔軟に対応し、人とペットが会おうきっかけの場を提供し続けています。



製品を通じた支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの方が不安を抱えられる中、チョコレートやコーヒーで少しでもほっと一息ついていたいただけるようさまざまな形で支援を行っています。

2021年2月、「キットカット」公式ツイッターで医療従事者の方々に対する応援や感謝のメッセージを募集し、そのメッセージを全国の医療従事者の方にお届けする「キット、届くエールの想い」を実施するとともに、全国の医療従事者の方へ「キットカット」をお届けしました。

日本赤十字社とネスレ日本は、「災害時における支援協力に関する協定」を2017年に締結し、「支援する側にも、支援の手を」の考えに基づいた製品の提供を行っています。

2021年7月から8月にかけて発生した大雨災害に際しては、日本赤十字社職員が活動する災害対策本部や救護所へボトルコーヒーおよびチョコレートを寄贈したほか、新型コロナウイルス感染拡大により多大な影響を受けているコミュニティへの支援として、赤十字病院及び赤十字血液センターへチョコレートやコーヒー・スティック飲料を寄贈しました。



沖縄コーヒープロジェクト



2019年、ネスレ日本と沖縄SV株式会社は、沖縄県名護市、琉球大学と連携し、沖縄で初となる大規模な国産コーヒーの栽培を目指す「沖縄コーヒープロジェクト」を開始しました。

沖縄県内の耕作放棄地などを活用し、沖縄を拠点とする国産コーヒー豆の栽培に本格的に取り組むことで、沖縄県の一次産業における問題解決を目指しています。世界中のコーヒー生豆のサプライチェーンを継続的に改善することを目的としたプログラム「ネスカフェ プラン」に取り組むネスレは、コーヒー栽培の技術支援、コーヒーの種子の提供などを行っています。

これまでに約6,500本のコーヒーの苗木が移植されており(2022年4月末時点)、「沖縄コーヒープロジェクト」によって初めてコーヒー豆が収穫される時期は最短で2022年冬以降を予定しています。

2022年5月、「沖縄コーヒープロジェクト」のさらなる取り組みの加速のために、名護市に続く第二の自治体として、うるま市との連携を開始しました。

地域コミュニティの活性化を目指して

製品やサービスを通じて、地域コミュニティの活性化を支援しています。

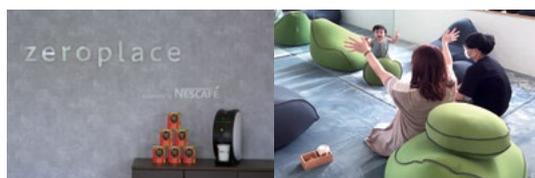
2021年4月、兵庫県芦屋市・ネスレ日本が芦屋市役所に共同で新設した「ASHIYA cafe supported by NESCAFÉ」は、地域の方々の交流の場であるとともに、障がいのある人へ就労機会を提供することを目的としています。NPO法人ホザナ・ハウスが雇用する障がいのある人がカフェのスタッフとしてカフェメニュー等の準備や接客などを行っています。

2021年10月、沖縄県浦添市の子育ての孤立を防ぐ助産師常駐のラウンジ併設型産後ケア施設「zeroplace supported by NESCAFÉ」の立ち上げを支援しました。育児相談もできる地域の拠点として、産前産後のご家族をサポートしています。

2021年11月、神戸市による長田区ふたば学舎内の資源回収ステーションの立ち上げに参加。コーヒーメーカーを提供し、コーヒーやチョコレート等を楽しみながら、市民がくつろぎ、気軽に立ち寄れるコミュニティを創出するとともに、プラスチック資源循環やサステナビリティへの意識醸成を支援しています。



「ASHIYA cafe supported by NESCAFÉ」(芦屋市)



「zeroplace supported by NESCAFÉ」(浦添市)



資源回収ステーション(神戸市)

Voice 社外の声

芦屋市制施行80周年記念事業として市役所内に「ASHIYA cafe supported by NESCAFÉ」をオープンすることができ、とてもうれしく思っております。利用者の皆様からも、高い評価をいただいております。障がいのある人の就労機会の創出と市民の皆様の利便性の向上や市政情報発信の場、世代を超えた多くの人々が集い、交流し、憩う場、相互に認めあえる全世代参加型の共生社会実現の礎となることを願っております。



芦屋市長
いとう まい 様

ダイバーシティ&インクルージョン・働きやすい職場



生産本部
ダイバーシティ&
インクルージョン ビジョン

Diversity & Inclusion Vision of Production Division

ポジションや性別、年齢、国籍、子育てや介護の有無に関わらず
お互いをリスペクト、ケアし、そしてチャレンジすることで
D&Iを推進し、One teamのマインドセットをより強固なものとする
そして全従業員一人ひとりが成長すること

By "Respect", "Caring" and "Challenge" each other,
PRD drives Diversity & Inclusion to strengthen
"ONE TEAM mind set" and to enable each and every employee to thrive regardless of
Position, Gender, Age, Nationality, Child/Family care, etc.

Dr. H. H. H. H. H.
D&I 2020 7-1-100000

ネスレではダイバーシティ&インクルージョン(多様性を認め、受け入れ、活かす)を今後の競争優位の源泉と位置づけており、さまざまな取り組みを通じて浸透・促進に取り組んでいます。

男性の育児休業取得を以前から推奨しており、2021年の男性の育児休業取得率は46%でした。さらなる取得推進のために、2022年3月には、育児休業を取得した男性社員が自身の体験を語る社内オンライントークセッションを実施しました。

生産本部では、2020年にタスクフォースチームを立ちあげ、マインドセット、子育てサポート、キャリア開発、フレキシブルな働き方の4つを注力分野として活動しています。2021年には、マネジャー向けワークショップやキャリアに関する意識調査を実施しました。

Voice 社員の声

ネスレでは社員一人ひとりの個性を尊重し、働きやすい職場づくりを目指しています。



人事総務本部
高田 寛子

イノベーションアワード

少子高齢化が進む成熟先進国の日本で、日々刻々と変化していく問題を解決するためには、社員一人ひとりがイノベーションを通じて顧客に価値を提供しなければなりません。社員全員が顧客の問題を発見し考える力を養うことができるよう、ネスレ日本では「イノベーションアワード」とよばれる社内コンテストを毎年実施しています。社員全員が、自分の顧客は誰か、顧客が抱える問題は何かについて考え、問題を解決するためのアイデア、そしてそれを実行した結果を応募します。



Innovation Award



Nestlé Good food, Good life

企業情報 ストーリー 製品情報 研究開発 サステナビリティ 栄養・健康 ウェルネス

Home > 企業情報 > 説明書 > 気になることがございましたら、お聞かせください。

気になることがございましたら、お聞かせください。

「Speak Up - お聞かせください」

「ネスレの経営に関する懸念」は、ネスレが事業運営する上でゆるぎない価値であり、深くコンプライアンスが浸透した企業文化へのネスレのコミットメントを反映したものです。ネスレの懸念は、単に懸念としてだけでなく、実地可能なものです。また私たちは、私たちの会社がこのコミットメントに沿って確実に経営されるように、すべてをやるという覚悟を持っています。気になることがございましたら、お聞かせください。

ネスレのコンプライアンス報告システム「Speak Up - お聞かせください」は、匿名を前提とした社外ステークホルダーの皆さまから、「ネスレの経営に関する懸念」に反する可能性があるコンプライアンス上の案件について連絡していただく専用窓口です。

「Speak Up - お聞かせください」へのご連絡の際は、案件のカテゴリーをご選択ください。次の11のカテゴリーに関する案件は、同社コンプライアンス委員会委員長とともに、スイス本社でコンプライアンス担当にも報告されます。

ネスレ企業サイト Speak Up - お聞かせください
<https://www.nestle.co.jp/aboutus/principles/report-your-concerns>

コンプライアンス

ネスレは「ネスレの経営に関する諸原則」および「ネスレ考働規範」に基づき、世界中で事業を行っています。2021年、コンプライアンスに関するネスレのグローバル監査プログラム「CARE」を実施しました。

また、すべての社外ステークホルダーの皆さまから、ネスレのコンプライアンスに反する可能性がある案件について連絡していただく専用システム「Speak Up - お聞かせください」を企業サイト上に設けています。



ネスレの2030年に向けた長期的な目標は、事業活動における環境負荷ゼロを目指すことです。また、気候変動そして持続可能なパッケージへの取り組みについては、右のようなコミットメントを掲げています。ネスレ日本においても、重点項目を定めて事業活動における取り組みを進めています。

気候変動への取り組み

2050年までに温室効果ガス(GHG)排出量実質ゼロを達成する

持続可能なパッケージへの取り組み

2025年までに包装材料を100%リサイクル可能あるいはリユース可能にする

2025年までにバージンプラスチックの使用量を3分の1削減する

製品パッケージの改善



コミットメントの達成に向け、製品パッケージの改善に取り組んでいます。2019年から始めた「キットカット」大袋製品の外袋素材をプラスチックから紙に変更する取り組みは、2020年にはほぼすべての「キットカット」大袋製品へと拡大、取り組み開始以来累積790トン(2021年末時点)のプラスチックを削減しました。



「ネスカフェ エコ&システムパック」では、2008年の発売以降、継続的にパッケージ素材の改良に取り組んでいます。



2021年1月、ネスレ ヘルス サイエンス「アイソカル」製品のストローの材質を業界で初めてプラスチックから紙に変更しました。紙ストロー採用により、累積7.6トン(2021年末時点)のプラスチックを削減しました。

2022年3月、ネスレ ピュリナ ペットケアでは、キャットフード「モンプチ」一部製品の外袋を紙パッケージに順次変更しました。この取り組みにより年間約78トンのプラスチック削減を見込んでいます。



2022年3月、ラベルを剥がす手間の軽減や、ごみの削減につながる「ネスカフェ エクセラ ボトルコーヒー」のラベルレス製品を発売しました。

サーキュラーエコノミー構築に向けて

廃棄物の削減を目指して、サーキュラーエコノミーの構築に向けた取り組みを進めています。

2021年9月、全国の西友48店舗で回収した「ネスカフェ」等のネスレ製品の紙パッケージが文房具(ノート)やアート作品として新たな命に生まれ変わる『MOTTAINAI』クリエイティブリユースアート企画を実施しました。

2022年2月、日清紡グループと共同で、「ネスカフェ エコ&システムパック」の空き容器等から紙糸を作って繊維とし、それをコーヒー残渣で染め衣類としてアップサイクル*する取り組みを開始しました。

2020年8月から開始したネスレネスプレッソによる使用済みカプセルの店頭回収では、2021年9月時点で約230トンのカプセルを回収しました。カプセルの主要素材であるアルミとコーヒーかすを分別し、アルミニウムは再生アルミニウムとして、コーヒーかすは堆肥、培養土の材料として活用されています。

*ゴミになってしまう物を価値のある物に変える試みのこと



行動変革を推進する

廃棄物のない未来の形成には、私たち一人ひとりの意識を変えることが必要と考え、さまざまな啓発活動を行っています。「キットカット」のパッケージ紙化の取り組みは、海洋プラスチックごみ削減の活動として小・中学校のSDGs教材で紹介されています。また、「ネスカフェ」製品では、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共同で環境啓発を行うエコプロジェクト『#NescafeOurPlanet (ネスカフェ アワープラネット)』を通じて、親子で楽しく地球環境について学ぶ機会を提供しています。2021年には、神戸市の小中高校生を対象に、環境問題について考える授業を実施しました。



持続可能な物流環境を目指して

ネスレは、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するというコミットメントを掲げ、グローバルで取り組んでいます。

ネスレ日本は、トラック輸送と比較して環境負荷が少ないモーダルシフト(大量輸送できる鉄道輸送と海運輸送への転換)を推進しています。地球温暖化の原因の1つとされる二酸化炭素の排出量において、鉄道輸送はトラック輸送の約13分の1、また、船舶輸送は約6分の1とされています。



2021年12月、ネスレ日本は、日本貨物鉄道株式会社(JR貨物)、全国通運株式会社、中越通運株式会社、鹿島臨海鉄道株式会社、鹿島臨海通運株式会社とともに、にグリーン物流パートナーシップ会議における最高賞である「経済産業大臣賞」を受賞しました。2020年から実施している、米等の農作物運送用に空回送されていたコンテナをペットボトルコーヒー飲料の輸送に活用する取り組みが、「産業を跨いだ新たな鉄道運送水平共同モデル」として高く評価されました。

Voice 社外の声

株式会社リクススの電気トラック導入の大きな目的として、環境に配慮した取り組みを最優先に考え、CO₂排出ゼロ輸送の実現に向けた取り組みを行ってまいりたいと考えます。また一方で燃料の高騰する中、燃料コスト削減についても大きな効果をもたらすものと考えており、環境負荷軽減の効果と社会への貢献に大きな役割を果たすため、今後も推進に向け取り組んでいきたいと考えます。



株式会社リクスス 代表取締役社長
土井 一正 様

また、顧客向けの製品配送における持続可能な物流環境の構築に向け、株式会社リクススと共同で電気トラック1台(三菱ふそうトラック・バス株式会社 eCanter)を導入し、関西地区での運用を2022年2月から開始しました。



食品ロス削減に向けて

製品を製造・販売する上で、お客様の需要をできる限り正確に予測し、過剰在庫が発生しないよう製造計画を立てるとともに、製品を製造する上で必要となる原材料や自社で保管している製品在庫量、製品出荷後の流通在庫量を適宜モニタリングし、過剰在庫が発生しないよう努めています。それでも発生してしまう過剰製品はフードバンク団体へ寄贈しています。また「キットカット」製造工場の食品残渣については、全量飼料化に向けて取り組んでいます。

2021年6月、食品ロス削減に向けた新たな取り組みとして、株式会社みなとくと共同で「みんなが笑顔になる 食品ロス削減ボックス」の運用を全国5か所で開始しました。「食品ロス削減ボックス」では、納品期限を超過したことで出荷される流通先が限定され、場合によっては廃棄される可能性がある「ネスカフェ」や「キットカット」製品などが販売されています。飲食が可能でありながら、通常の流通ルートでの販売が困難になっている製品を消費者に販売する新たなチャンネルを構築し、食品ロス削減を目指します。



食品ロス削減ボックス

Voice 社員の声

農業従事者の方々が生産するコーヒー豆などの原材料をできる限り無駄にせず、持続可能な形で製品をお届けする仕組みを目指します。

飲料事業本部
高岡 二郎



国内3工場で埋立廃棄物ゼロ

2016年に国内の全3工場で埋立廃棄物ゼロを初めて達成して以降、現在も継続しています。島田工場（静岡県）と姫路工場（兵庫県）では、コーヒー抽出工程で排出されるコーヒーかすのほぼ100%をバイオマスとして再利用し、その再生可能エネルギーで発生した蒸気を工場の熱源として利用しています。また、島田工場は、2010年から、製造過程で発生するコーヒーかすの一部を培養土にリサイクルする活動も続けています。

姫路工場：コーヒーかす熱エネルギー回収システム